

植込型補助人工心臓実施施設として院内認証制度に関する取り組み ～経験の少ない看護チームが安全に管理するために～

*¹地方独立行政法人静岡県立病院機構静岡県立総合病院看護部,

*²地方独立行政法人静岡県立病院機構静岡県立総合病院検査部検査技術・臨床工学室

風戸 法子*¹, 小鹿 良子*¹, 百瀬 行世*¹, 中村 祥英*¹, 笠井 悠汰*², 佐藤 佑一*²,
内藤 達哉*², 占部 泰寛*², 山田 健太*²

Noriko KAZATO, Ryoko KOSHIKA, Ikuyo MOMOSE, Shohei NAKAMURA, Yuta KASAI, Yuichi SATO, Tatsuya NAITO,
Yasuhiro URABE, Kenta YAMADA

1. 背景・目的

当院は、植込型補助人工心臓 (implantable ventricular assist device, iVAD) の植込実績がなく、患者の継続的な入院がないため、患者管理や機器管理の経験が少ない。しかし、患者が合併症などでセルフケア能力が低下した際には、医療者が管理を代行する必要がある。機器管理については、臨床工学技士が代行する体制をとっているが、緊急時には迅速に対応を行う必要があり、患者を24時間看護する看護師の不安が大きい。そこで、iVADの知識をもち、バッテリー交換や緊急時の対応が行える看護師の育成をするため、院内認証制度と継続的な人材育成プログラムを作成し、実践・評価したので報告する。

2. 方法

1) 院内認証制度

規定のプログラムを受講しテストに合格した者を植込型補助人工心臓バッテリー交換認証看護師として、院内の補助人工心臓 (ventricular assist device, VAD) チームが認証する。患者の安全を担保できるよう3ヶ月ごとの更新制とし、認証を受けた者がバッテリー交換や緊急時対応を行う。

2) 人材育成プログラム

①研修準備

院内VADチームの看護師や臨床工学技士と協働し、研修の準備を行った。院内管理が標準化できるようVAD緊急停止時のフロー、バッテリー交換依頼フロー、各機種の日常点検表、e-learning用の動画作成などを行った。また、研修時間の確保について看護部との調整や、関連部署の看護師長に受講者選定や業務調整の協力依頼を行った。

②研修概要

研修概要は、新規受講者に対する新規編と3ヶ月ごとの

更新者に対する更新編とに分け、当院独自のプログラムを作成した。新規編の受講対象はVAD患者に関わる看護師、臨床工学技士とし、受講条件は臨床経験として1年以上VAD患者に関わっていること、または関わる可能性のある病棟や外来に勤務していること、さらに、3ヶ月ごとの更新研修を受講することができることとした。条件を満たす者を看護師長が選出し、研修の申し込みを行う。更新編の受講対象は3ヶ月以内に研修を受講した認証看護師とし、安全性の担保のため3ヶ月以内に更新できなかった場合は新規編を再受講する。

③研修プログラム

新規編は研修の概要、院内VAD関連フローシート、バッテリー交換、緊急時対応についての講義とハンズオン、筆記テストと実技テストを行う。更新編は事前にe-learningで講義を受講し、研修当日は筆記テストと実技テストを行う。

3. 結果

2020年12月から2023年3月までに新規編12回、更新編24回を実施した。2021年度は新規・更新編ともに受講者が多く、認証看護師が8部署34名まで増加した。しかし、2022年度は、新規受講者が減少したことや、異動や退職により、認証看護師が9名減少して25名となった。院内認証制度開始後、iVAD患者の入院は11件であったが、患者に関わるインシデントはなかった。

4. まとめ・独創性

VAD患者と関わる経験の少ない施設でも、体制を整備することで、機器管理の知識や技術を備え緊急時対応が行える看護師の育成が可能となる。更新制により看護師の知識、技術の蓄積につながる。新規受講者の減少や退職などによる更新受講者の減少があるため、認証看護師の確保に課題を残すが、患者の安全のため、認証看護師を継続的に育成できるよう各部署の協力を得ながら管理者との連携が必要となる。

本稿のすべての著者には規定されたCOIはない。

■ 著者連絡先

静岡県立総合病院看護部

(〒420-8527 静岡県静岡市葵区北安東4-27-1)

E-mail. gh-kango@i.shizuoka-pho.jp